

小兒科専門 小原頼之先生校閲
女子高等師範學校教授東基吉先生編著

新案 育兒日誌

●子ある家庭には必備の寶典

本書は東先生が從來我國に記入の完全なる育兒日記の勝ちなるを歎ぜらるゝの餘り多年考察の結果今回新に考案せられたるも、主成分一覽表に至りては小兒科専門小原先生の指示と校閲とに由りて懇切丁寧に記載せられ、殊に育兒のことは一々實例を示され、たれば、**實驗的育兒法**として又從來の如きも至れり盡せりといふべし、**子どもある家庭**には是非とも備へざるべし、**出産の祝品**として最も**適切文明的**なるべし。

注意! 本書の定價は殆んど白紙の代價に等し。白紙の代價を以てして有益無比の本書は購求せらるべきなり

發 兌 元

弘 道 館

(舶來上等紙摺)
洋裝美本 紙數凡そ四百五十頁
定價四十錢(總クローズ) (全一冊)
特製五十錢(脊皮洋裝) (全一冊)
郵 稅 各 八 錢

教育界の曙光

世評の一斑

◎大歡迎大好評 二版三版數句を経ざるに賣切今第四版發行中

帝國大學 文學博士 元良勇次郎先生新著

心理學綱要

洋裝菊判全一冊
紙數三百卅餘頁
正價金壹圓
郵稅金十錢

「報知新聞曰く」是れ元良博士の新著なり、博士が心理學に於ける發見は世既に定評あり(中略)其内容の通俗平易なる些少の素養なきものにて一讀判明するを得心理學上の書として近來稀有の著なり云々

「讀賣新聞曰く」本書の説く處極めて通俗にして著者自身の經驗を引用し並に用語の意味を明かにして最近の學說に依ること最も力めたる要點なり云々

「國民新聞曰く」吾人は心理學綱要を讀んで元良博士の健在を悦ぶ該書は十年前心理學十回講義を出版したる以來の著述にして昨年の講義を基本として更に添削を加へ此著述を爲したりと其自個の經驗を引用し漫りに他の籬下に倚らず、他の足跡を辿らざるは博士其人の學者としての本領を知るに足候

「萬朝曰く」著者嘗て心理學十回講義を著して以來、たい斯學の講習に思を置め爾來十年之に關する書を著はす事なかりしか久しぶりに茲に此書を公にするに至れり

トロヒスム、内容は前者より頗る價值あるものにして特に最近に至りて現はれたる、では邦書中最も適當なる参考書たるべし

「日本教育曰く」心理學に關する著書は世間に其數多しと雖も或るものは繁に失し或ものは簡に失し、普通學的に簡單明瞭を旨として著述されたるものは其數頗る少しこの欠點を補ふて斯學研究の士に最も有益なる新刊を供給したは弘道館の「心理學綱要」となり

一 内容
一 班

1 ●心理學は何を研究する學なるか 2 ●研究の方法及範圍 3 ●神經の構造及生理 4 ●意識表象注意 5 ●精神の要求に就て 6 ●感覺論 7 ●感覺論(續) 8 ●知覺表象及記憶 9 ●想像及聯想 10 ●概念及推論 11 ●感情論 12 ●本能及意志

附録 一 精神中の統一作用 二 心の一切の經驗及其分作用に就て

(前付の三)

◎發行所 東京神田猿樂町 弘道館 ◎

新刊發賣廣告

東京高等師範學校教授 東京帝國大學文科大學助教授 文學士保科孝一先生新著

改定 假名遣要義

菊判形全一冊
正價金四十錢
郵税金六錢

假名遣の改正は文部部の大英斷なり。我國教育界に於ける破天荒の變遷なり。思想發表の法これより一變し大に進歩の見ゆるべきものあらん。されば教育教授の任にあらんとするものわ假名遣の改正の理由改定假名遣の性質及び如何に教授上に應すべきか等の問題にし、正確なる知見をそなへよくこれを運用し以て其の實益を收めざるべからず。保科先生が言語學に精通し、且非凡の卓識を持せらるゝわ、斯學界の推重する所なり、此書は先生が該博なる智識と非凡の見とを以て、假名遣改正の由來、改正假名遣の實質、改正假名遣の歴史等より假名遣改正の必要、改定假名遣と國語教授等を、八ヶ年間の講究を以て、懇切丁寧に詳述せられしものにして、方今改正假名遣の要を知るに於て將た改正假名遣を教授上に應用する上に於いて本書の右に出づるものなかるべく、此書一たび出て、假名遣改正の意明瞭となり、教授上に於ける假名遣の應用等一定すべし。

文學士保科孝一先生著
◎言語學講話
洋裝總クローズ全一冊
定價金八十五錢

修正第三版發行

發行所 東京神田猿樂町 弘道館

(前付の四)